

佐久大学大学院 看護学研究科

修士論文コース プライマリケア看護コース

大学院への進学を
考えてみませんか？



進学相談会

大学院入試

2022年6月25日(土)
15－17時

I期 2022年
9月10日(土)

2022年8月20日(土)
15－17時

II期 2022年
12月10日(土)

2022年11月5日(土)
15－17時

III期 2023年
2月11日(土)

研究科長からのメッセージ

小林 恵子



佐久大学大学院看護学研究科では、研究課題を探求する修士論文コースと高度な看護実践能力を備えた診療看護師を目指すプライマリケア看護コースを開設しております。いずれも実践経験から生まれる課題や現状への疑問を自ら解明する研究プロセスをとおして論理的思考や研究力を身につけることを支援しております。現在、9割以上の方が勤務を継続しながら学んでおり、修了生は看護管理者、診療看護師、看護教育者・研究者として幅広く活躍しております。

あなたのチャレンジを歓迎します！

3つの特徴

1. 学修ニーズに対応する2コースを開設。

高度な学びとキャリアアップに対応します。

院生一人ひとりが持つ疑問や関心に基づいて課題を研究する「修士論文コース」と、診療看護師（NP）を目指す「プライマリケア看護コース」があります。一定の要件を満たした人が学べる科目等履修生の制度もあります。

2. 少人数体制での手厚い指導。

3～4年かけて学べる長期履修制度もあります。

院生1名につき指導教員が2名の手厚い教員体制を用意しています。働きながら学ぶ院生のために、授業の曜日や時間の相談に応じます。2年間で修了できない場合は、2年間の学費で3～4年間履修可能な「長期履修制度」を設けています。

3. 院生専用研究室や専門書が充実した図書館、国際交流の機会も提供します。

休日・夜間も利用できる院生専用の研究室を完備。図書館には国内外の看護専門雑誌や研究論文データベースもあります。執筆した修士論文は、地域の専門職へ共有・活用。また、国際交流の機会も多く、グローバルな視点も養成します。

大学院 コース別の学び



修士論文コース

徹底した少人数教育により、看護師のキャリア形成を推進

臨床の現場で経験を積み重ねると、現場だけでは解決できない疑問や課題に直面し、改めて看護学を学び直す必要性に迫られます。

修士論文コースでは、多様な目的を持って入学する院生に徹底した少人数教育を実施します。院生は複数の教員による指導を受けつつ最新の論文や研究に触れ、自らの研究テーマを追究することで、これまでに得られなかった知見や発想力を獲得していきます。

大学院修了後の姿：看護実践者、看護教育者、医療機関管理職、看護研究者

プライマリケア看護コース

高度な看護実践能力を備えた診療看護師（NP
[Nurse Practitioner]) を目指す

高齢者施設や慢性期病棟など医師不在の時間が存在する施設では、対象者の症状に応じて診療看護師（NP）がタイムリーな診療を提供することで、重症化を防止し、生活の質を高めていくことができます。

自律的に診療行為を提供できる能力を持つ診療看護師の養成教育は、現在全国11校の大学院で行われており、佐久大学大学院はその一翼を担っています。本学で学べる特定行為は、高齢化が進む地域でとくに要望が高い10区分23行為。今後、地域の医療機関・施設において、診療看護師への期待がますます高まることは間違いません。

大学院修了後の姿：診療看護師（NP）

お問い合わせ先

佐久大学入試広報課

〒385-0022 長野県佐久市岩村田2384

TEL 0267-68-6680

E-mail admission@saku.ac.jp



出願までの準備

【出願資格】

大学を卒業した方、学士の学位をお持ちの方は出願資格があります。

短期大学や専門学校を卒業した方は、本学での出願資格審査に通ると、出願資格を得られます。

【出願前面談】

出願の前に、大学院担当教員と面談をします。

詳細は募集要項をご確認ください



受験・進学の準備

【受験科目】

コースにより異なりますので、募集要項をご確認ください。

【事前準備】

両コース共通として、小論文の練習をお勧めします。

これまでの看護経験を振り返り、気がかりや疑問を文章にしてみましょう。

「直接、大学院？」と心配な方へ

【科目等履修制度】

事前に「科目等履修生」の制度を用いると、大学院入学前に、一部の科目を履修できます。取得した科目は、入学後に既修得単位として認定できます。

いきなり進学するのは心配な方、働きながら科目を履修してみませんか？

詳細は募集要項をご確認ください。

【研究生】

事前に「研究生」の制度を用いることで、大学院入学前に研究の事前準備などを進めることができます。

詳細は募集要項をご確認ください。



修士論文コース 院生 近藤さん



外来患者さんと関わるなかで、退院支援不足や慢性的な症状が日常生活に影響を及ぼしていることがわかりました。外来看護師は、病気とともに患者さんの「生活」を看していく必要があるのでないかという課題をもち、大学院への入学を決意しました。大学院での学びは、日頃感じていた疑問や課題が紐解かれるような感覚があり、常に臨床現場とリンクしています。臨床を経験した上で、さらに深く看護を学ぶことの意味を実感できる場だと思います。

プライマリケア看護コース 院生 小林さん



私の所属先は医師不足が深刻で、日当直だけでなく、入院患者様の診療や処置も診療援助の非常勤医に多くをお願いしています。

自分にも何か出来ることはないのかと思い、大学院への進学を決意しました。プライマリケア看護コースで、医学の視点の強化、看護の視点の向上を目指し、日々学修しています。

仕事と学業の両立は簡単ではないですが、診療看護師として他職種と協働し、最善の治療を尽くし、多くの患者様の力になれるよう努力したいと思っています。

経済面の支援について

佐久大学大学院（修士論文コース、プライマリケア看護コース）は、厚生労働省の実施する教育訓練給付制度の指定を受け、より学びやすくなりました。

教育訓練給付制度とは、働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。受給には条件があります。詳しくは、厚労省HP、ハローワークHPへ

修士論文コース

<一般教育訓練>

受講費用の20%（上限10万円）が訓練修了後に支給されます。

プライマリケア看護コース

<専門実践教育訓練>

受講費用の50%（上限80万円）が、訓練受講中6ヶ月ごとに支給されます。資格取得等をし、かつ訓練修了後1年以内に雇用保険の被保険者として雇用された場合は、受講費用の20%（上限32万円）が追加で支給されます。

支給額：最大1,120,000円



文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」として認定されました。

- ・長野県看護職員修学資金
- ・日本学生支援機構：第一種奨学金の貸与を受けた方には、返還免除制度があります。
詳細はご相談ください。

YouTube 各コースの説明動画を配信中！

大学院概要

修士論文 コース

プライマリケア 看護コース

